

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 25日

中施策事業名	リサイクル推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ごみとして排出されている資源物が資源としてリサイクルされている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 資源回収 ・ リサイクルの普及		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
リサイクル率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	26.9	26.9	26.9	26.9	0	0
	実績値	28.4	28.4				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				154, 909千円	166, 435千円	
	a 事業費合計			154, 909千円	166, 435千円	175, 027千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				26, 972千円	24, 877千円
③ コスト (①－②)				127, 937千円	141, 558千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 859 円	2, 057 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B プラスチック一括回収開始後、1年が経過し、市民への周知も進んできている一方で、リサイクル率がほぼ横ばいとなっている。ごみのパンフレットの改訂も行ったことから、よりわかりやすい広報を引き続き心がけていく。 また、令和6年度よりペットボトルの水平リサイクルも開始したことから、今後の排出量の推移について注視していく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ごみの分別案内についての方法の検討、工夫を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ペットボトル水平リサイクルの効果を検証する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 27日

中施策事業名	ごみ減量啓発事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が排出するごみが減っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ごみ分別パンフレット ・アダプトプログラムの推進 ・ごみ減量化推進 ・事業系一般廃棄物の減量化推進 ・とよあけクリーン月間 ・資源分別説明会 ・食品ロス削減 ・出前講座		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
資源説明会、出前講座の参加人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	360	360	500	500	0	0
	実績値	667	1,060				
単位	人						
1人1日あたりの可燃・不燃ごみの排出量	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	410	410	410	410	0	0
	実績値	473	453				
単位	g						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				4, 405千円	4, 290千円	
	a 事業費合計			4, 405千円	4, 290千円	769千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				8千円	6千円	6千円
③ コスト (①－②)				4, 397千円	4, 284千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				64 円	62 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 令和4年度にプラスチック一括回収を開始し、家庭から排出されるごみの量も減少傾向にある。また、令和5年度は、家庭から排出される生ごみ堆肥化推進の為、これまでの出前講座に加え、保育園や各所での講座を開催し、昨年度と比較し多くの受講者に参加していただいた。未だ目標値には及ばないが、着実な減少傾向が見受けられることから引き続き動向を注視していく必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各種広報媒体を有効活用し、水分量の低減や乾燥化といった市民の方に納得感を持って取り組んでいただけるようなごみの減量に繋がる効果的な手段や方法を発信していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	出前講座のブラッシュアップや、意見交換会での内容の見直しなどを行い、効果的でわかりやすい手法を検討していく。また、ごみのパンフレットの改定年度になることから、より市民に分かりやすい紙面を作成する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	不法投棄対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	06 人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		
②大施策	ごみが落ちていないきれいなまちをつくる		
③中施策	人々のマナーの向上を図る		
④中施策事業の対象	市域		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	不法投棄がない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・環境保全一般		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
不法投棄数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	230	230	180	180	0	0
	実績値	100	89				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				2, 212千円	2, 290千円	
	a 事業費合計			2, 212千円	2, 290千円	2, 841千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				2, 212千円	2, 290千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				32 円	33 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 今後も監視を続けていくことで、不法投棄が行われにくい環境にしていくことができる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定期的な巡回により、早期発見とともに警告ラベル処理を行うことで監視体制を強化していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	警告ラベルによって抑止力を促すという対処療法的な方法と合わせて、何故不法投棄が望ましくないのかといった啓発的な抑止を行い、啓発をする必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	新エネルギー推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	エコライフを促進する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多くの市民等が、再生可能エネルギー設備を積極的に導入し、「地域のエネルギーで豊かに暮らすまち・豊明（新エネルギー推進計画）」を実感するようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地中熱利用事業に関すること ・ 太陽光発電屋根貸し事業に関すること ・ 太陽光発電事業の計画立案に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
再生可能エネルギー（太陽光発電等）による年間売電 量	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	26,954	29,649	29,649	29,649	0	0
	実績値	25,194	26,339				
	単位	MWh					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				61,434千円	61,307千円	
	a 事業費合計			61,434千円	61,307千円	73,700千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				61,434千円	61,307千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				893 円	891 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 水上太陽光発電事業については、概ね順調な発電を記録している。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市民一人ひとりが将来のエネルギー課題について取り組みを継続できる再生可能エネルギーへの関心高めるための啓発が必要である。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	水上太陽光発電事業については、安定的な発電量を維持できるように適切な維持管理を努めていく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	合併処理浄化槽設置補助事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	下水供用区域外の住居		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	単独浄化槽等から合併浄化槽となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・生活排水		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市内単独処理浄化槽数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	1,860	1,850	1,840	1,830	0	0
	実績値	1,898	1,895				
単位	基						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				3,683千円	4,447千円		
	a 事業費合計			3,683千円	4,447千円	4,441千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				683千円	2,242千円
③ コスト (①－②)				3,000千円	2,205千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				44 円	32 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 水質改善に効果のある、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの合併処理浄化槽への切り替えを重点的に進めていく必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	下水道区域に区域の見直しに伴う、既存の浄化槽の切り替え需要について注視する必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現年度の状況を踏まえて、補助金内容の拡充等を検討する必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	公害対策事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	市内の大気汚染や悪臭の問題を少なくする		
④中施策事業の対象	市内の河川及び大気		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	河川の水質が浄化されているとともに車等の排気ガスが抑制されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公害		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
河川の春季におけるBODの環境基準（3mg/L以下）達成箇所数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	5	5	6	6	0	0
	実績値	5	8				
単位	箇所						
大気環境測定局における浮遊粒子物質の測定値（年平均）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	17	17	17	17	0	0
	実績値	15	15				
単位	ppm						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				7,083千円	8,626千円	
	a 事業費合計			7,083千円	8,626千円	9,345千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				7,083千円	8,626千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				103 円	125 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 河川等の水質調査を実施するとともに数値を公表し公害対策に努めた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	測定箇所や項目について検討を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	今後も必要に応じて測定箇所や項目などを見直していく。 測定局に関しては状況に応じた在り方について検討していく必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	温暖化対策推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	09 空気がきれいである		
②大施策	きれいな空気を保全する		
③中施策	排気ガスの排出量を抑制する		
④中施策事業の対象	公用車		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	温室効果ガスが削減されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 地球温暖化対策立案に関すること ・ エコアクションプランに関すること ・ 省エネルギー政策の推進に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公用車における温室効果ガス総排出量についての対26年度削減比率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	5	5	5	5	0	0
	実績値	10.1	12.5				
	単位 %						
住宅用地球温暖化対策設備等設置費補助金申請件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	20	20	20	20	0	0
	実績値	4	4				
	単位 件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				2, 315千円	2, 315千円	
	a 事業費合計			2, 315千円	2, 315千円	2, 889千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				50千円	50千円	125千円
③ コスト (①－②)				2, 265千円	2, 265千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				33 円	33 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B エコアクションプランによる取り組みを推進することにより温室効果ガスの削減を進めることができた。 住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金については、V2Hが対象であるが、災害時の電力確保手段として有用であることにかわりはないため継続していきたい。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	V2Hに関する補助金について、啓発を行う必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市民一人ひとりが地球温暖化対策について課題意識持つことができるよう、関心を高めていくための啓発が必要である。 V2Hは災害時の電力確保手段として有用であり、補助事業継続していくことと温室効果ガスに寄与する施策の検討が必要である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 5日

中施策事業名	有機循環推進事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	市民とともに緑が続く環境をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	可燃ごみとして排出されている生ごみが各家庭で堆肥化・減量化されている。		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 生ごみ堆肥化促進容器等購入費補助金交付事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助金を交付した生ごみ堆肥化促進容器数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	30	30	30	30	0	0
	実績値	27	54				
単位	基						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				2, 237千円	2, 662千円	
	a 事業費合計			2, 237千円	2, 662千円	3, 071千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			2, 237千円	2, 662千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			33 円	39 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和5年度より、生ごみ減量化容器等購入費補助の対象を電動式のものも対象とする要綱改正を行い、より幅広い選択が可能となったため、昨年度と比較し、大幅に増加する結果となった。また、ダンボールコンポストをはじめとした生ごみ堆肥化について、市内各地で出前講座を行ったことによっても、より幅広い層に浸透していると考えられる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	導入のコストやハードルが低いのは、ダンボールコンポストであることから、保育園での出前講座を中心に引き続き、普及促進のための活動を継続していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	電動生ごみ処理機を含めた申請件数の推移を検証し、引き続き普及に向けた周知方法や広報手段を検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 11月 7日

中施策事業名	墓地管理事業	部課名	経済建設部・環境課
		作成者	松本 裕介
①めざすまちの姿	10 日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティになっている		
②大施策	自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる		
③中施策	生活利便性の高い街をつくる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	勅使墓園が有効に利用されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 墓地 ・ 火葬場 ・ 墓園事業		

■評価指標

中 ・ 長 期 成 果 に 対 す る 目 標 達 成 状 況							
空墓所数の残数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	712	707	702	697	0	0
	実績値	694	707				
単位	基						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				24, 373千円	18, 043千円	
	a 事業費合計			24, 373千円	18, 043千円	22, 900千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				24, 373千円	18, 043千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				354 円	262 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 近年、家族形態の変容から墓離れの傾向が進みつつある中、墓所募集の周知の工夫などにより、使用許可数は前年度並となった。 また、墓所を使用しないで返還する場合に発生する永代使用料還付金が少なかった。 指定管理者制度の導入により都市公園との包括管理を実施し、スケールメリットによるコスト削減とともに、お盆やお彼岸において仏花を販売したことや、墓の見守りサービス（区画内の雑草除去・墓石掃除・お参りなど）を行うなど、よりよい墓園経営に努めた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指定管理者制度による都市公園との包括管理を実施し、スケールメリットによるコスト削減とともに更なるサービス向上を図る。 その実例として、老朽化した樹木の対策や桶の手置棚の設置がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者制度による都市公園との包括管理において、利用者へのサービス向上の施策について指定管理者と協議を引き続き行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等